

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	おおたかの森ホール開館記念事業			会計	款	項目	大専	小専
政策	03	3節	学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	生涯学習課			
施策	3-4	ながれやま市民文化の継承と醸成		主管課長	中西 直人			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民全般	意図	おおたかの森ホールの開館を記念して、市民の文化芸術の交流発信拠点を創出するために、質の高い文化芸術の鑑賞機会の提供をする。
事業内容	おおたかの森ホールの開館を記念して、ホール機能を通じて文化的・芸術的活動を通じた幅広い交流を創出し、市民の文化芸術の振興を図るため市民が文化芸術に親しめて、多様な文化芸術活動を展開できる音響に優れた多目的ホールを目指し質の高い芸術鑑賞の場として活用する事業を開催する準備を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	市場性調査に参加した指定管理予定候補事業者による情報提供及びまちづくり顧問による助言打ち合わせにより演者の日程調整等行った。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
指標で表すことができない定性的な成果	市民の文化芸術の交流発信拠点を創出するために、質の高い文化芸術の鑑賞機会の提供を図られた。				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）		
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)				13,184,380			
事業費(b)(円)				380			
うち一般財源				380			
職員給与費(c)(円)				13,184,000			
人役・職員(人)				2.00			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性 コストの削減	A 対象者は適切である B 削減の余地がややある
総合評価	VI 縮 小 （改善ではなく、他の事業との統合又は縮小すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	新規事業により記載なし	③取組における課題(Check)	広く文化芸術を振興する必要がある。
②H30に実施した取組(Do)	新規事業により記載なし	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	指定管理者による自主事業として、文化芸術振興を進める。